日　時　　令和６年11月４日（月）12時～16時30分

場　所　　愛媛県民文化会館　真珠の間（松山市道後町2-5-1）

令和６年度県民総合文化祭　～継承と創造 文化がつなぐ時～

令和６年度県民総合文化祭「俳句大会」

・特別賞三賞　　・特選句講評　　・募集句選句一覧　・当日句選句一覧

主　催　　愛媛県　　愛媛県教育委員会

松山市　　松山市教育委員会

（公財）愛媛県文化振興財団

愛媛県文化協会　松山市文化協会

愛媛県俳句協会

実施主体　　愛媛県県民総合文化祭実行委員会

◇特別賞・三賞

【愛媛県知事賞】

水飲んで飲んで八月終りけり

大洲市　佐野　幸子（さちこ）

【愛媛県教育委員会　教育長賞】

ははの杖われに短し草の花

松山市　和泉久美子（いずみくみこ）

【愛媛県文化協会長賞】

牛洗ふ父の背骨の牛に似て

大洲市　清水　禎子（ていこ）

絵のように浮かんでくる。

309　水飲んで飲んで八月終りけり　　大洲市　佐野　幸子

〈評〉この夏、多くの人が体験した猛暑ならではの光景。これからはこれが当たり前かと思うと夏が思い遣られる。飲んで飲んでと畳みかける描写に酷暑の実感が端的に描かれている。日本中が疲れた猛暑がやっと終わった感じ。

横田青天子　特選句講評

624　河童出るてふ立て札や水澄めり　　新潟県　吉田　希美

〈評〉「水澄む」（みずすむ）水の美しく見える秋の季題であります。「河童：かっぱ」は、水陸両生、頭に皿背中に甲羅を持つと言う想像上の動物であります。その河童が出るという立て札であります。子供の水遊びへの注意喚起の立て札であります。夢とユーモアのある対応であります。

1093　かなかなや子等の声なき里に住む　　四国中央市　豊田　耕造

〈評〉「かなかな」秋に鳴く蝉の一種、蜩の鳴き声が季題となったものであります。夕暮れの鳴き声は哀愁そのものであります。掲句は、過疎の里が詠まれております。大人、老人ばかりの里であります。将

来を憂いているのであります。

平岡千代子　特選句講評

409　産土の治水の石碑稲の花　　松山市　武井日出子

〈評〉「産土」の措辞によって、かなり古い治水碑を想像します。年貢米が税であった頃の、農民の苦労が刻まれているのかも知れません。農業機械化の現代にあって、先祖たちの稲作を振り返る敬虔な思いが一句に込められています。

468　大漁旗日除けに島のレストラン　　宇和島市　水野　幸子

〈評〉明るい句です。大漁旗を日除けにするレストランならきっと繁盛するでしょう。作者の自然な息づかいが摑んだ、即興的な句でありながら、海辺の立体感、色彩感そして土着性まで描き出していることに賛意を表します。

井上論天　特選句講評

158　銃眼の奥みんみんのこゑ盛ん　　東温市　亀井　千代子

〈評〉　静まり返った深山に佇み、心身を研ぎ澄ましながら標的に銃を構える作者。しかし、自然との同化を阻むように深山蝉が猛る。こ

深く考えているのだろう。

木下節子　特選句講評

6　補聴器を外してからの夜長かな　　大洲市　五十瀬（いせ）つがや

〈評〉年を重ねると目や耳が先ず衰える。耳の機能を補う補聴器を外すと、情報から遮断され真空状態に陥ったような感覚になり、闇が深まって行くようだ。そこから作者にとっての長い夜が広がって行く。

309　水飲んで飲んで八月終りけり　　大洲市　佐野　幸子

〈評〉「飲んで飲んで」というリフレインに殺人的な八月の猛暑を乗り切った作者の感慨が表れているようだ。また「八月の」水は敗戦や原爆などという歴史の記憶と奥深い所で繋がっているようでもある。

原田マチ子　特選句講評

250　案外に佳きひと世なりそのひぐさ　　東温市　和田　明子

〈評〉＜そのひぐさ＞は日日草のことで、朝咲いて夕べには散る一日花。初夏から秋まで次々と咲き続ける花に、生きて行く底力と寧けさを託された。静穏な安堵感に満ちた気持ちのよい句と思う。来し方を振り返っての感慨。

安原谿游　特選句講評

661　灯をひとつ乗せて金魚の掬はれり　　松山市　岩本　峰子

〈評〉夜店の金魚掬いの情景であろう。紙の網で掬った金魚を入れた容器ごとに夜店の灯りが一つ水に映っている。それを「灯をひとつ乗せて」という措辞によりその場の光景と客の興奮ぶりが直に伝わってきた。

725　記念樹もう百の蟬くる木となりぬ　　西条市　丸山　英子

〈評〉卒業記念に植樹した木なのであろう。里帰りして久しぶりに母校を訪ねたところ、木は立派に成長しており蟬時雨が聞こえてきたという。自分の辿って来た生涯や学友に想いを馳せている作者がそこに居る。

川内　雄二　特選句講評

542　島百戸くまなく照らす望の月　　松山市　木下　早苗

〈評〉天高く煌々と満月が島を照らしている。島の港周辺には百戸の民家が肩を寄せ合うように影を落としている。この句、満月の光が「くまなく」家々を照らして、満遍なく安寧な一日を約している。寝静まった島人の息遣いまで伝わってくる。

918　夕顔の今宵限りを咲き匂ふ　　西条市　三宅　品江

〈評〉夕顔の花は、夏の夕方に大きな白い花を開き、翌朝にはしぼむ。花は、どこかはかなげな中にも野趣がある。この句、夕顔の花のいのちの短さを「今宵限り」と詠み、そして、美しく開くため、全霊を込めて、「咲き匂ふ」と詠む。

本郷和子　特選句講評

675　向日葵や一花一花にある気迫　　西予市　末光恵美子

〈評〉向日葵の花は太陽の方を向き力強く咲いている。一花一花どれも生命力があり気迫に満ちている。この句からは広大な向日葵畑を想像する。太陽の元、グイと立ち向かう向日葵を見ているとその気迫が伝わってくるのだ。

945　ねこじゃらし気づかぬほどの風つかむ　今治市　小林　明美

〈評〉ねこじゃらしは狗尾草ともいう。道端に又、空地に草原にどこにでも見かける。風もないのに少しだけ揺れているのは、ねこじゃらしが、わずかな風を敏感にとらえ、人間よりもずっとずっと繊細な植物であることの証明だ。

令和6年度愛媛県民総合文化祭・俳句大会募集句選句用紙

選者名　松本　勇二

特選二句

	番号	俳句	住所	氏名
①	583	洗車機が車呑み込む大夕焼	松山市	奥村（おくむら）　千代子（ちよこ）
②	681	星屑や突然空を古きジャズ	松山市	松岡（まつおか）　陽子（ようこ）

入選十八句

	番号	俳句	住所	氏名
①	15	前略のような恋です南風	松前町	安部（あべ）　奈月（なつき）
②	64	胃カメラの喉越し上々走り梅雨	松山市	副島（そえじま）　妃都美（ひとみ）
③	121	倒壊前ここは居間よと草を引く	大洲市	丸美（まるみ）　恵美子（えみこ）
④	151	帰省子に打たせる赤き境杭	松野町	谷（たに）　きよし
⑤	191	石楠花を咲かせきらきら九十才	東温市	山先（やまさき）　のり子（こ）
⑥	263	来し方もやがて忘るる蟬の穴	松前町	高橋（たかはし）　淑子（としこ）
⑦	371	はつ恋のふりして金魚すくひかな	宇和島市	佐々木（ささき）　正弘（まさひろ）
⑧	383	折り紙とレゴとひ孫の夏休み	松山市	彦坂（ひこさか）　よしみ
⑨	449	お転婆は終生抜けず川涼み	今治市	渡辺（わたなべ）　寿美（すみ）
⑩	454	歯科の椅子倒せば秋の来りけり	松山市	赤穂（あかほ）　和子（かずこ）
⑪	496	苔の寺肺胞で聴く法師蟬	大洲市	大森（おおもり）　眞由美（まゆみ）
⑫	514	昭和生れ頭も足も百日紅	四国中央市	宮内（みやうち）　和子（かずこ）
⑬	599	ハンカチや息するようにあやまって	松山市	藤田（ふじた）　敦子（あつこ）
⑭	759	盂蘭盆会亡き夫に似た顔そろふ	松山市	吉良（きら）　由美子（ゆみこ）
⑮	824	青春褪せず棗の実まだ青し	今治市	河上（かわかみ）　ミカ
⑯	892	秋深むどこかに置きし素のわたし	大阪府	藤本（ふじもと）　としこ
⑰	997	日焼せし母の笑顔に育てられ	松山市	東（あずま）　くみ子（こ）
⑱	1025	飛石の真中あたり秋立てり	松山市	平野（ひらの）　ヒサヱ

令和6年度愛媛県民総合文化祭・俳句大会募集句選句用紙

選者名　高岡　周子

特選二句

	番号	俳句	住所	氏名
①	83	牛洗ふ父の背骨の牛に似て	大洲市	清水（しみず）　禎子（ていこ）
②	309	水飲んで飲んで八月終りけり	大洲市	佐野（さの）　幸子（さちこ）

入選十八句

	番号	俳句	住所	氏名
①	146	道問へば長くなりけり夏帽子	東温市	宇和川（うわがわ）　由貴子（ゆきこ）
②	148	この曲にまた針おろす秋の夜	松山市	宮居（みやい）　一夫（かずお）
③	183	母の手の届かぬところ墓洗ふ	松山市	赤津（あかつ）　正夫（まさお）
④	260	抱く子のからだぴくりと揚花火	今治市	望月　淳子
⑤	281	二〇〇貫の分銅吊す大暑かな	東温市	露口（つゆぐち）　早苗（さなえ）
⑥	286	花莫蓙にねて父のこと母のこと	松山市	三好（みよし）　喜久子（きくこ）
⑦	308	指揮棒を使はぬ巨匠月涼し	松山市	深野（ふかの）　和子（かずこ）
⑧	367	終点の駅よビールよ海風よ	大洲市	白石（しらいし）　清美（きよみ）
⑨	386	ひよつとこの口が鬼灯鳴らしをり	松山市	渡部（わたなべ）　美恵子（みえこ）
⑩	524	生身魂飯が旨うてたまらんと	今治市	渡辺（わたなべ）　芳子（よしこ）
⑪	609	行き摺りの無言の会釈吾亦紅	千葉県	重松（しげまつ）　冴子（さえこ）
⑫	679	ヒトケモノ大地も黙る油照り	松山市	高橋（たかはし）　豊子（とよこ）
⑬	802	猫じゃらしそろそろ旅の一座来る	松山市	渡辺（わたなべ）　美紀子（みきこ）
⑭	863	ねむり草眠らせてゐる指小さき	新居浜市	永易（ながやす）　知子（ともこ）
⑮	883	すり足に竹刀握りて汗にじむ	宇和島市	山口　きよ子
⑯	921	残者など言つてをれずに畑仕事	松山市	高須賀（たかすか）　和徳（かずのり）
⑰	1028	ほととぎす鳴くこと言ひてすれ違ふ	今治市	柚山（ゆやま）　つゆ子（こ）
⑱	1139	鶏頭花おとなにもある反抗期	松山市	窪田（くぼた）　美鈴（みすず）

令和6年度愛媛県民総合文化祭・俳句大会募集句選句用紙

選者名　横田　青天子

特選二句

	番号	俳句	住所	氏名
①	624	河童出るてふ立て札や水澄めり	新潟県	吉田（よしだ）　希美（のぞみ）
②	1093	かなかなや子等の声なき里に住む	四国中央市	豊田（とよた）　耕造（こうぞう）

入選十八句

	番号	俳句	住所	氏名
①	60	故郷の海を見に行く白日傘	砥部町	篠﨑　伶子
②	202	生かされてゆつくりゆらす半仙戯	西条市	高須（たかす）　良子（よしこ）
③	206	天道虫羽を見事にたたみけり	松山市	大野（おおの）　玲子（れいこ）
④	287	庭の木に鳥眠らせて星月夜	松山市	もりたきよこ
⑤	315	風鈴をチリと鳴かせて片しけり	群馬県	天田（あまだ）　久子（ひさこ）
⑥	377	久方の正座八月十五日	東温市	三瀬（みせ）　直子（なおこ）
⑦	522	ここでしか生きてゆかれぬ水中花	東温市	池川（いけがわ）　紀子（のりこ）
⑧	531	転がつて部屋を一周昼寝の子	松山市	桝田（ますだ）　久枝（ひさえ）
⑨	562	子規よりは軽き一病小鳥来る	今治市	玉田　佐知子
⑩	640	石たたき前へ前へと飛びにけり	今治市	藤永（ふじなが）　福代（ふくよ）
⑪	667	手を繋ぐ二歳と五歳いわし雲	松山市	松尾　博
⑫	781	ははの杖われに短し草の花	松山市	和泉（いずみ）　久美子（くみこ）
⑬	828	秋灯や君の名の消ゆ備忘録	西条市	菅生（すごう）　正恵（まさえ）
⑭	914	蝉時雨今朝の集合六時です	松山市	吉田　ゆるる
⑮	931	無防備の赤子のねむり秋簾	松山市	河合（かわい）　寿子（ひさこ）
⑯	983	目の前に海ある暮し鰯雲	愛南町	山口（やまぐち）　菫（すみれ）
⑰	1052	木箱から林檎とり出す香りかな	松山市	堀田　ちか子
⑱	1125	暮れる迄しつかと咲きて酔芙蓉	宇和島市	三好（みよし）　日出子（ひでこ）

令和6年度愛媛県民総合文化祭・俳句大会募集句選句用紙

選者名　平岡　千代子

特選二句

	番号	俳句	住所	氏名
①	409	産土の治水の石碑稲の花	松山市	武井日出子（たけいひでこ）
②	468	大漁旗日除けに島のレストラン	宇和島市	水野幸子（みずのさちこ）

入選十八句

	番号	俳句	住所	氏名
①	59	涼しさや手を振れば来る渡し舟	砥部町	篠崎伶子（しのざきれいこ）
②	137	とんかつを運ぶロボット夏休み	宇和島市	毛利晴美（もうりはるみ）
③	144	新札のすべる手ざわり涼新た	松山市	金並れい子（きんなみれいこ）
④	220	峰雲や老いてなほある好奇心	東温市	菅野美代（かんのみよ）
⑤	287	庭の木に鳥眠らせて星月夜	松山市	もりたきよこ
⑥	310	一分の祈りの重き敗戦忌	大洲市	佐野幸子（さのさちこ）
⑦	375	花火師の闇に紛れて走りをり	新居浜市	深川明子（ふかがわあきこ）
⑧	411	窓に向く椅子の背にある愁思かな	松山市	秋山豊美
⑨	432	がらんどうの原爆ドーム蟬しぐれ	松山市	橋本法子（はしもとのりこ）
⑩	448	全身でマスクの医師の言葉聞く	今治市	進藤三保子（しんどうみほこ）
⑪	486	橋向かうの町の騒めき揚花火	大洲市	川本恵美子（かわもとえみこ）
⑫	500	川底をさぐりつつゆく素足かな	西条市	相原美由紀（あいばらみゆき）
⑬	523	ブラジルの移民二世と苧殻焚く	今治市	渡辺芳子（わたなべよしこ）
⑭	672	おはなはん通り緋鯉の水涼し	松山市	三好芙美枝（みよしふみえ）
⑮	701	存問や朝の金魚の尾鰭振り	香川県	大喜多道子（おおきたみちこ）
⑯	713	冷蔵庫サッと閉めてと妻の声	松山市	岸田慶（きしだけい）
⑰	792	施餓鬼旗かみつきさうな峡の雲	松山市	稲積和子（いなづみかずこ）
⑱	973	この星の行末思ふ暑さかな	松山市	山川敏子

令和6年度愛媛県民総合文化祭・俳句大会募集句選句用紙

選者名　井上　論天

特選二句

	番号	俳句	住所	氏名
①	158	銃眼の奥みんみんのこゑ盛ん	東温市	亀井　千代美
②	264	あぶくのぽぽぽ琉金の立ち泳ぎ	松前町	高橋　淑子

入選十八句

	番号	俳句	住所	氏名
①	28	とんぼうの目線は我を呼ぶ高さ	大洲市	酒井　清香
②	47	転勤のうはさや蜷の道伸びて	松山市	林　一酔
③	51	囀りへ応ふ口笛下校道	今治市	富田　柿郷
④	83	牛洗ふ父の背骨の牛に似て	大洲市	清水　禎子
⑤	148	この曲にまた針おろす秋の夜	松山市	井筒屋　一
⑥	249	サングラスかけて噂の外にゐる	東温市	和田　明子
⑦	307	逆縁の盆花白を尽しけり	松山市	深野　和子
⑧	309	水飲んで飲んで八月終りけり	大洲市	佐野　幸子
⑨	332	放置さる亡夫の田畑盆蜻蛉	伊予市	稲岡　幸子
⑩	529	ほどほどに手を抜く暮しつくつくし	西条市	岡部　和代
⑪	562	子規よりは軽き一病小鳥来る	今治市	玉田　佐知子
⑫	658	ここよ此処ささやくように梅二輪	松山市	片岡　誠子
⑬	772	水洟も涙も袖に泥だんご	松山市	平良　晴美
⑭	851	一日花赫く咲き継ぐ広島忌	宇和島市	梶原　征子
⑮	864	考への二転三転して愁思	新居浜市	永易　知子
⑯	945	ねこじやらし気づかぬほどの風つかむ	今治市	小林　明美
⑰	983	目の前に海ある暮し鰯雲	愛南町	山口　菫
⑱	1142	秋蝶の止まり直して影正す	和歌山県	小山　ひとみ

令和6年度愛媛県民総合文化祭・俳句大会募集句選句用紙

選者名　江崎　紀和子

特選二句

	番号	俳句	住所	氏名
①	258	闇に手を引かれて入りし踊りの輪	松山市	宍野（しの）　宏治（こうじ）
②	377	久方の正座八月十五日	東温市	三瀬（みせ）　直子（なおこ）

入選十八句

	番号	俳句	住所	氏名
①	27	伊予灘へ流れ込みたる夕焼かな	大洲市	酒井（さかい）　清香（きよか）
②	207	電子音あまた聞き分け星月夜	松山市	柚山（ゆやま）　紀美子（きみこ）
③	249	サングラスかけて噂の外にゐる	東温市	和田（わだ）　明子（あきこ）
④	281	二〇〇貫の分銅吊す大暑かな	東温市	露口（つゆぐち）　早苗（さなえ）
⑤	431	湯屋出づる父の大き手星月夜	松山市	橋本（はしもと）　法子（のりこ）
⑥	453	打ち水や地球はまさに燃えてをり	松山市	赤穂（あかほ）　和子（かずこ）
⑦	515	八月のひかりのまはる糸車	大洲市	山中（やまなか）　清子（きよこ）
⑧	522	ここでしか生きてゆかれぬ水中花	東温市	池川（いけがわ）　紀子（のりこ）
⑨	562	子規よりは軽き一病小鳥来る	今治市	玉田（たまだ）　佐知子（さちこ）
⑩	721	ラッセラの声果て月の津軽富士	松山市	渦岡（うずおか）　くみ子（こ）
⑪	754	近づけば「ちっ」と舌打ち油蝉	松山市	林（はやし）　桂子（けいこ）
⑫	781	ははの杖われに短し草の花	松山市	和泉（いずみ）　久美子（くみこ）
⑬	843	中身より形が大事鳥威し	松山市	前田（まえだ）　啓子（けいこ）
⑭	896	二人なら雲かるくなる大花野	松山市	西村　スミ
⑮	964	一合の米を研ぎをり雁の空	松山市	和泉（いずみ）　厚子（あつこ）
⑯	1007	博多帯締めて義太夫きく良夜	大洲市	楠崎　陽子
⑰	1086	でんすけ西瓜仏壇に黒光り	松山市	横山（よこやま）　宣恵（のぶえ）
⑱	1139	鶏頭花おとなにもある反抗期	松山市	窪田（くぼた）　美鈴（みすず）

令和6年度愛媛県民総合文化祭・俳句大会募集句選句用紙

特選二句

選者名　木下　節子

	番号	俳句	住所	氏名
①	6	補聴器を外してからの夜長かな	大洲市	五十瀬つがや
②	309	水飲んで飲んで八月終りけり	大洲市	佐野　幸子

入選十八句

	番号	俳句	住所	氏名
①	89	集合の笛に集まる日焼の子	松山市	篠原みどり
②	146	道問へば長くなりけり夏帽子	東温市	宇和川由貴子
③	147	父愛でし地酒の小瓶墓洗ふ	松山市	宮居　一夫
④	189	億年の地層くつきり晩夏光	松山市	遠藤久仁子
⑤	221	鈴の音や夜あけ待たずに発つ遍路	西予市	川口　輝樹
⑥	225	未完の稿にあまたの付箋明早し	松山市	石原　悦子
⑦	360	履き慣れぬ下駄の嬉しや盆踊り	東京都	竹田テル子
⑧	400	万骨眠る八月の沖の紺	松山市	山内　和子
⑨	409	産土の治水の石碑稲の花	松山市	武井日出子
⑩	439	熱風をつれて宅配来りけり	西条市	荒井　智子
⑪	458	夏旺んくるりと丸き仁王の目	松前町	出海　晶子
⑫	607	薄暗きカフェに居座る不死男の忌	松山市	住田　貴子
⑬	705	細りたる母の手首や処暑の風	埼玉県	北島　倫子
⑭	759	盂蘭盆会亡き夫に似た顔そろふ	松山市	吉良由美子
⑮	781	ははの杖われに短し草の花	松山市	和泉　久美子
⑯	928	拭き掃除せずにはおれぬ生身霊	松山市	平野　素美
⑰	1039	ポケットに自転車の鍵休暇果つ	松山市	岡田　郁江
⑱	1134	自分への旅の絵葉書小鳥くる	京都府	室　展子

令和6年度愛媛県民総合文化祭・俳句大会募集句選句用紙

特選二句

	番号	俳句	住所	氏名
①	38	短夜や若きナースの靴の音	大洲市	山根（やまね） 円壱（まるいち）
②	109	大地炎ゆるホモ・サピエンスの余命	松山市	平岡（ひらおか） 喜代美（きよみ）

選者名　丹　通雄

入選十八句

	番号	俳句	住所	氏名
①	14	展望台へらせん階段雲の峰	内子町	毛利（もうり） 喜子（のぶこ）
②	35	村中が命の坩堝蝉時雨	四国中央市	近藤 節子
③	48	罅割れは神の占ひ鏡餅	松山市	林（はやし） 一酔（いっすい）
④	97	土偶にも乳房のふたつ薄暑光	岡山県	山本（やまもと） 雪（ゆき）
⑤	183	母の手の届かぬところ墓洗ふ	松山市	赤津（あかつ） 正夫（まさお）
⑥	186	踏みくぼむ磴百段や著莪の花	伊予市	西尾（にしお） 芳子（よしこ）
⑦	375	花火師の闇に紛れて走りをり	新居浜市	深川（ふかがわ） 明子（あきこ）
⑧	532	始まりは六角形の蜘蛛の網	松山市	桝田（ますだ） 久枝（ひさえ）
⑨	562	子規よりは軽き一病小鳥来る	今治市	玉田（たまだ） 佐知子（さちこ）
⑩	583	洗車機が車呑み込む大夕焼	松山市	奥村（おくむら） 千代子（ちよこ）
⑪	667	手を繋ぐ二歳と五歳いわし雲	松山市	松尾（まつお） 博（ひろし）
⑫	801	分校の先生若し稲の花	松山市	渡辺（わたなべ） 美紀子（みきこ）
⑬	939	望の夜やありがとさんと逝きし伯父	西予市	井上 あゆみ
⑭	972	穴まどひ隣の庭へ入りけり	新居浜市	飯尾（いいお） 博（ひろし）
⑮	1021	寝転べば皆んな石ころ星月夜	松山市	薬師寺 美枝
⑯	1025	飛石の真中あたり秋立てり	松山市	平野（ひらの） ヒサヱ
⑰	1081	白シャツに白靴履いて退院す	鬼北町	末廣（すえひろ） 典子（のりこ）
⑱	1121	素うどんを食べる仲です天の川	大洲市	矢野 好孝

令和6年度愛媛県民総合文化祭・俳句大会募集句選句用紙

選者名　原田　マチ子

特選二句

	番号	俳句	住所	氏名
①	250	案外に住きひと世なりそのひぐさ	東温市	和田　明子
②	781	ははの杖われに短し草の花	松山市	和泉　久美子

入選十八句

	番号	俳句	住所	氏名
①	50	戦争の話も少し大花火	松山市	渡部　美智子
②	86	雲迅し積みしケルンに小石足し	松山市	菅　啓子
③	142	七歳の常規ちんと風涼し	松山市	櫻木　テル子
④	183	母の手の届かぬところ墓洗ふ	松山市	赤津　正夫
⑤	244	天の川句友の縁濃し淡し	宇和島市	酒井　孝子
⑥	276	夕すずし死者に錦の面覆	伊予市	原田　美知恵
⑦	300	戦争を美化してならぬ額に汗	松山市	田中　恵子
⑧	409	産土の治水の石碑稲の花	松山市	武井　日出子
⑨	457	石棺の凹みのごつとながし南風	松前町	出海　晶子
⑩	465	薄れゆく記憶抱きしむ遠花火	東京都	柿崎　巍
⑪	480	蟬声にまみれ降魔図うすぐらし	伊予市	園田　志保
⑫	550	青空のどこか空つぽ敗戦忌	松山市	水代　なつよ
⑬	595	壺に耳ふたつ水無月過ぎにけり	松山市	田中　希美
⑭	720	動き出しさうモノクロの立て版古	松山市	友近　扶美子
⑮	721	ラッセラの声果て月の津軽富士	松山市	渦岡　くみ子
⑯	950	フィナーレの御幣争奪風死せり	宇和島市	川崎　由美子
⑰	981	残照の海黄槿の煌めきて	宇和島市	川崎　敬子
⑱	993	読経流るる堂裏の断腸花	今治市	阿部　千鶴美

令和6年度愛媛県民総合文化祭・俳句大会募集句選句用紙

選者名　安原　谿游

特選二句

	番号	俳句	住所	氏名
①	661	灯をひとつ乗せて金魚の掬はれり	松山市	岩本　峰子
②	725	記念樹もう百の蟬くる木となりぬ	西条市	丸山（まるやま）　英子（ひでこ）

入選十八句

	番号	俳句	住所	氏名
①	36	草刈つて草の匂ひを束ねけり	四国中央市	近藤　節子
②	40	八月は祈りの月よ空仰ぐ	四国中央市	近藤　美代子
③	89	集合の笛に集まる日焼の子	松山市	篠原　みどり
④	103	徒遍路背負ふリュックに千羽鶴	鬼北町	古谷（ふるや）　久代（ひさよ）
⑤	219	悠揚と鳶の空あり麦の秋	東温市	菅野（かんの）　美代（みよ）
⑥	352	ハーレーの風切る地平晩夏光	松山市	井上　和子
⑦	373	枝豆を積んで飲兵衛きりもなや	西条市	西山（にしやま）　幸枝（さちえ）
⑧	411	窓に向く椅子の背にある愁思かな	松山市	秋山　豊美
⑨	520	電車ごと秋夕焼にのみ込まる	松山市	戒能（かいのう）　澄子（すみこ）
⑩	578	応援のホルンに写る雲の峰	松前町	森田（もりた）　千重子（ちえこ）
⑪	619	百幹の竹の真青に秋立ちぬ	今治市	池田　澄子
⑫	651	来島瀬戸名月乗せて流れけり	今治市	北岡（きたおか）　大夢（たいむ）
⑬	749	西日濃し林立ビルの光ゲと陰	西条市	白石（しらいし）　寿（ことぶき）
⑭	755	ラムネ飲む昭和の音をころばせて	西予市	瀧澤　浩子
⑮	805	あの崎を廻れば故郷浜おもと	松山市	立花（たちばな）　慶舟（けいしゅう）
⑯	812	割り箸で絡め取りたし夏の雲	西予市	小島（こじま）　里世（りせ）
⑰	857	離れ住む子等の名も書き夏祓	新居浜市	永易（ながやす）　まるみ
⑱	868	カルストの岩に貌ありひつじ雲	松山市	花山　恵子

令和6年度愛媛県民総合文化祭・俳句大会募集句選句用紙

選者名　川内　雄二

特選二句

	番号	俳句	住所	氏名
①	542	島百戸くまなく照らす望の月	松山市	木下　早苗
②	918	夕顔の今宵限りを咲き匂ふ	西条市	三宅（みやけ）　品江（しなえ）

入選十八句

	番号	俳句	住所	氏名
①	23	見えてゐる限り青田の戦ぎをり	西予市	三瀬（みせ）　教世（みちよ）
②	36	草刈つて草の匂ひを束ねけり	四国中央市	近藤　節子
③	167	瀬に響く河鹿金鈴振る如し	西条市	日野　淳子
④	258	闇に手を引かれて入りし踊りの輪	松山市	宍野（ししの）　宏治（こうじ）
⑤	283	炎天に火焔を背にし明王像	松前町	曽根（そね）　康代（やすよ）
⑥	307	逆縁の盆花白を尽しけり	松山市	深野（ふかの）　和子（かずこ）
⑦	360	履き慣れぬ下駄の嬉しや盆踊り	東京都	竹田　テル子
⑧	467	日暮待つ鵜匠煙草をくゆらせて	宇和島市	水野（みずの）　幸子（さちこ）
⑨	482	黒潮の闇にこぼるる烏賊釣火	愛南町	泉（いずみ）　くらら
⑩	505	をどり果て風の坂道下りたる	松山市	岡本（おかもと）　典子（のりこ）
⑪	606	盆供物たちまち波に攫（さら）はるる	八幡浜市	山本　敏子
⑫	745	草取女やかんの蓋で茶をすする	大洲市	渡辺　孝子
⑬	790	送り火を一人で焚いて山暮し	松野町	日平（ひのひら）　治男（はるお）
⑭	800	一族の大膝小膝盂蘭盆会	松山市	渡部（わたなべ）　美年（みとせ）
⑮	879	秋夕焼廃校の窓赤々と	松山市	大坪（おおつぼ）　絢子（あやこ）
⑯	1086	でんすけ西瓜仏壇に黒光り	松山市	横山（よこやま）　宣恵（のぶえ）
⑰	1093	かなかなや子等の声なき里に住む	四国中央市	豊田　耕造
⑱	1095	被爆者の髪皆白し広島忌	松山市	柴尾（しばお）　美恵子（みえこ）

令和6年度愛媛県民総合文化祭・俳句大会募集句選句用紙

選者名　本郷　和子

特選二句

	番号	俳句	住所	氏名
①	675	向日葵や一花一花にある気迫	西予市	末光（すえみつ）恵美子（えみこ）
②	945	ねこじゃらし気づかぬほどの風つかむ	今治市	小林（こばやし）明美（あけみ）

入選十八句

	番号	俳句	住所	氏名
①	83	牛洗ふ父の背骨の牛に似て	大洲市	清水（しみず）禎子（ていこ）
②	131	記念樹も切り株になり蟬しぐれ	伊予市	向川（むかいがわ）芳美（よしみ）
③	147	父愛でし地酒の小瓶墓洗ふ	松山市	井筒屋（いづつや）一（はじめ）
④	216	打ち水をしてより大地眠らしぬ	松前町	大倉　時子
⑤	243	万緑の風吹きぬける駅ピアノ	宇和島市	酒井（さかい）孝子（たかこ）
⑥	344	里山を小さくしたる雲の峰	西予市	黒田（くろだ）美穂（みほ）
⑦	351	火の粉舞ひ水面の燃ゆる鵜匠舟	松山市	井上　和子
⑧	385	一山の鼓動となりぬ蟬時雨	松山市	渡部（わたなべ）美恵子（みえこ）
⑨	413	キャラバンゆく月夜の駱駝絹を積み	松山市	高井（たかい）雅弘（まさひろ）
⑩	468	大漁旗日除けに島のレストラン	宇和島市	水野（みずの）幸子（さちこ）
⑪	522	ここでしか生きてゆかれぬ水中花	東温市	池川（いけがわ）紀子（のりこ）
⑫	614	庭花火我が家はいつか大人だけ	東京都	髙橋（たかはし）正雄（まさお）
⑬	658	ここよ此処（ここ）ささやくように梅二輪	松山市	片岡（かたおか）誠子（せいこ）
⑭	725	記念樹もう百の蟬くる木となりぬ	西条市	丸山（まるやま）英子（ひでこ）
⑮	755	ラムネ飲む昭和の音をころばせて	西予市	瀧澤　浩子
⑯	782	放牛に走る雲影大夏野	松山市	和泉（いずみ）久美子（くみこ）
⑰	1012	へうへうと生くるのも良し青瓢	大洲市	楠﨑　陽子
⑱	1081	白シャツに白靴履いて退院す	鬼北町	末廣（すえひろ）典子（のりこ）

令和6年度愛媛県民総合文化祭・俳句大会当日句選句用紙

特選一句

選者名　松本　勇二

	番号	俳句	住所	氏名
①	46	掬いては零す農の手今年米	松山市	金並(きんなみ)れい子(こ)

入選十五句

	番号	俳句	住所	氏名
①	4	老い果てた今が果報か草の花	新居浜市	栗林(くりばやし)　正明(まさあき)
②	9	おいてけぼりや虫しぐれ虫しぐれ	松前町	高橋(たかはし)　淑子(としこ)
③	11	花野行く今年も亡夫に会うために	松山市	松岡(まつおか)　陽子(ようこ)
④	13	秋を待つ迷い心を枝に掛け	松山市	大野(おおの)　美代子(みよこ)
⑤	18	A4の紙に小言の多き秋	松山市	坂上(さかうえ)　昊(そら)
⑥	19	薩摩芋両手はみ出す夫婦愛	松山市	小野(おの)　千秋(ちあき)
⑦	20	葛湯してど忘れの名を思ひ出す	今治市	望月(もちづき)　淳子(じゅんこ)
⑧	28	パン食んであいつは秋の蚊だったのか	松山市	あをの　しるる
⑨	47	妻のもの着せて饒舌なる案山子	宇和島市	井上(いのうえ)　論天(ろんてん)
⑩	51	楽あれば苦あり苦あれば小豆煮る	新居浜市	薦田(こもだ)　のり子(こ)
⑪	54	留守電のランプ点滅そぞろ寒	松山市	松崎(まつざき)　幸子(さちこ)
⑫	60	冬に入る奥歯一本失うて	新居浜市	永易(ながやす)　知子(ともこ)
⑬	61	晩秋に靴ひも固く選挙権	松山市	奥村(おくむら)　千代子(ちよこ)
⑭	72	百年の廂の深し柿のれん	大洲市	清水(しみず)　禎子(ていこ)
⑮	84	目薬は涙袋へ散る紅葉	松山市	明神(みょうじん)　修一(しゅういち)

令和6年度愛媛県民総合文化祭・俳句大会当日句選句用紙

選者名　高岡　周子

特選一句

	番号	俳句	住所	氏名
①	55	洗濯機止めて木の実を掬ひけり	松山市	門田（かどた）　智子（ともこ）

入選十五句

	番号	俳句	住所	氏名
①	5	そろばんの教室狭し秋の暮	砥部町	古角（こかど）　涼真（りょうま）
②	7	サッチモの濁声（だみごえ）聴きつ栗を剥く	松山市	林（はやし）　理恵（りえ）
③	8	教頭も校長も曳く秋神輿	松山市	山本（やまもと）　恭児（きょうじ）
④	18	A4の紙に小言の多き秋	松山市	坂上（さかうえ）　昊（そら）
⑤	23	暮早し終点告ぐるアナウンス	松山市	ねむ。
⑥	30	群りて孤独もありぬ赤蜻蛉	松山市	水代（みずしろ）　なつよ
⑦	47	妻のもの着せて饒舌なる案山子	宇和島市	井上（いのうえ）　論天（ろんてん）
⑧	57	福島とはっきり読めて秋の蝶	新居浜市	飯尾（いいお）　博（ひろし）
⑨	69	一斗缶鳴らして鳥を威しけり	宇和島市	平岡（ひらおか）　千代子（ちよこ）
⑩	70	廃線の危うき駅舎野菊活け	松山市	武田（たけだ）　直（すなお）
⑪	72	百年の廂の深し柿のれん	大洲市	清水（しみず）　禎子（ていこ）
⑫	76	左岸の画廊右岸の飯屋秋深む	伊予市	園田（そのだ）　志保（しほ）
⑬	81	詩ごころを煮つめて秋の野路深し	松山市	木下（きのした）　早苗（さなえ）
⑭	86	ここからは海をゆく旅鷹柱	松山市	渡辺（わたなべ）　美紀子（みきこ）
⑮	88	田の隅の影濃き祠小六月	東温市	三瀬（みせ）　直子（なおこ）

令和6年度愛媛県民総合文化祭・俳句大会当日句選句用紙

選者名　平岡　千代子

特選一句

	番号	俳句	住所	氏名
①	82	子規の筆漱石のペンさやけしや	松山市	原田マチ子（はらだ）

入選十五句

	番号	俳句	住所	氏名
①	3	朝鴨の礫のやうに動かざる	四国中央市	豊田みゆき（とよた）
②	7	サッチモの濁声（だみごえ）聴きつ栗を剥く	松山市	林理恵（はやし　りえ）
③	10	ありがたうの手話を交しぬ小春風	松山市	山内和子（やまうち　かずこ）
④	20	葛湯してど忘れの名を思ひ出す	今治市	望月淳子（もちづき　じゅんこ）
⑤	43	仏壇の夫へ大盛り栗ごはん	松山市	大坪絢子（おおつぼ　あやこ）
⑥	52	舟頭のみちのく訛り紅葉晴	松山市	高橋豊子（たかはし　とよこ）
⑦	54	留守電のランプ点滅そぞろ寒	松山市	松崎幸子（まつざき　さちこ）
⑧	60	冬に入る奥歯一本失うて	新居浜市	永易知子（ながやす　ともこ）
⑨	63	天高し松山駅のリニューアル	今治市	池内文恵（いけうち　ふみえ）
⑩	66	玄関に蟷螂力尽きてをり	今治市	横田青天子（よこた　せいてんし）
⑪	72	百年の廂の深し柿のれん	大洲市	清水禎子（しみず　ていこ）
⑫	78	秋晴や珈琲の香の新駅舎	四国中央市	星月彩也華（ほしづき　さやか）
⑬	79	路地をゆく子供みこしやゑのこ草	松山市	上田こま（うえだ）
⑭	86	ここからは海をゆく旅鷹柱	松山市	渡辺美紀子（わたなべ　みきこ）
⑮	88	田の隅の影濃き祠小六月	東温市	三瀬直子（みせ　なおこ）

令和6年度愛媛県民総合文化祭・俳句大会当日句選句用紙

特選一句

選者名　井上　論天

	番号	俳句	住所	氏名
①	73	鷹渡る空の余白を使ひきり	西予市	末光恵美子（すえみつえみこ）

入選十五句

	番号	俳句	住所	氏名
①	11	花野行く今年も亡夫に会うために	松山市	松岡陽子（まつおかようこ）
②	14	鶏頭やけなげな律の紅襷	松前町	武智かおる（たけちかおる）
③	24	くり返す戦と祈り桐は実に	松山市	渦岡くみ子（うずおかくみこ）
④	25	灯火親し晩学の影濃く曳きて	松山市	和泉久美子（いずみくみこ）
⑤	29	晩秋の森のこぼせる風の音	今治市	比留木のぶ子（ひるきのぶこ）
⑥	52	舟頭のみちのく訛り紅葉晴	松山市	高橋豊子（たかはしとよこ）
⑦	60	冬に入る奥歯一本失うて	新居浜市	永易知子（ながやすともこ）
⑧	66	玄関に蟷螂力尽きてをり	今治市	横田青天子（よこたせいてんし）
⑨	70	廃線の危うき駅舎野菊活け	松山市	武田直（たけだすなお）
⑩	76	左岸の画廊右岸の飯屋秋深む	伊予市	園田志保（そのだしほ）
⑪	79	路地をゆく子供みこしやゑのこ草	松山市	上田こま（うえだこま）
⑫	82	子規の筆漱石のペンさやけしや	松山市	原田マチ子（はらだまちこ）
⑬	83	青信号郭公鳴きて街動く	大洲市	五十瀬つがや（いせつがや）
⑭	85	散り落葉泛ひて華やぐ八坂寺	松山市	楠本たけし（くすもとたけし）
⑮	88	田の隅の影濃き祠小六月	東温市	三瀬直子（みせなおこ）

令和6年度愛媛県民総合文化祭・俳句大会当日句選句用紙

特選一句

	番号	俳句	住所	氏名
①	52	舟頭のみちのく訛り紅葉晴	松山市	高橋（たかはし） 豊子（とよこ）

選者名　江崎　紀和子

入選十五句

	番号	俳句	住所	氏名
①	4	老い果てた今が果報か草の花	新居浜市	栗林（くりばやし） 正明（まさあき）
②	7	サッチモの濁声（だみごえ）聴きつ栗を剥く	松山市	林（はやし） 理恵（りえ）
③	17	古里やどの道行くも豊の秋	西条市	三宅（みやけ） 品江（しなえ）
④	22	朝より風の明るき文化の日	大洲市	山中（やまなか） 清子（きよこ）
⑤	23	暮早し終点告ぐるアナウンス	松山市	ねむ。
⑥	29	晩秋の森のこぼせる風の音	今治市	比留木（ひるき）のぶ子（こ）
⑦	31	落鮎の光掠めて釣られけり	松山市	友近（ともちか） 芙美子（ふみこ）
⑧	35	秋日和土器の欠片の〇五番	松山市	櫻木（さくらぎ）テル子（こ）
⑨	55	洗濯機止めて木の実を掬ひけり	松山市	門田（かどた） 智子（ともこ）
⑩	58	眠るまで背を撫でをる夜長かな	東温市	井上（いのうえ） 京子（きょうこ）
⑪	60	冬に入る奥歯一本失うて	新居浜市	永易（ながやす） 知子（ともこ）
⑫	68	同郷の訛なつかし青蜜柑	松山市	武井（たけい） 日出子（ひでこ）
⑬	69	一斗缶鳴らして鳥を威しけり	宇和島市	平岡（ひらおか） 千代子（ちよこ）
⑭	87	砕かれてなほ胡桃なる胡桃餅	松山市	一色（いっしき） 大輔（だいすけ）
⑮	88	田の隅の影濃き祠小六月	東温市	三瀬（みせ） 直子（なおこ）

令和6年度愛媛県民総合文化祭・俳句大会当日句選句用紙

特選一句

選者名　木下　節子

	番号	俳句	住所	氏名
①	47	妻のもの着せて饒舌なる案山子	宇和島市	井上　論天（いのうえ　ろんてん）

入選十五句

	番号	俳句	住所	氏名
①	2	子らの声あふるる路地や小鳥来る	松山市	中矢　利麗（なかや　りり）
②	7	サッチモの濁声（だみごえ）聴きつ栗を剥く	松山市	林（はやし）　理恵（りえ）
③	10	ありがたうの手話を交しぬ小春風	松山市	山内（やまうち）　和子（かずこ）
④	15	野分立つフル回転の乾燥機	松山市	桝田（ますだ）　久枝（ひさえ）
⑤	23	暮早し終点告ぐるアナウンス	松山市	ねむ。
⑥	34	くろがねの刀子と手斧豊の秋	松山市	三好（みよし）喜久子（きくこ）
⑦	38	句の友はシャンソンも好き文化の日	松山市	岸田（きしだ）　慶（けい）
⑧	43	仏壇の夫へ大盛り栗ごはん	松山市	大坪（おおつぼ）　絢子（あやこ）
⑨	54	留守電のランプ点滅そぞろ寒	松山市	松崎（まつざき）　幸子（さちこ）
⑩	55	洗濯機止めて木の実を掬ひけり	松山市	門田（かどた）　智子（ともこ）
⑪	60	冬に入る奥歯一本失うて	新居浜市	永易（ながやす）　知子（ともこ）
⑫	65	腹の虫鳴いて白湯飲む夜長かな	新居浜市	森（もり）　里美（さとみ）
⑬	73	鷹渡る空の余白を使ひきり	西予市	末光（すえみつ）恵美子（えみこ）
⑭	86	ここからは海をゆく旅鷹柱	松山市	渡辺（わたなべ）美紀子（みきこ）
⑮	88	田の隅の影濃き祠小六月	東温市	三瀬（みせ）　直子（なおこ）

令和6年度愛媛県民総合文化祭・俳句大会当日句選句用紙

選者名　丹　通雄

特選一句

	番号	俳句	住所	氏名
①	57	福島とはっきり読めて秋の蝶	新居浜市	飯尾（いいお）　博（ひろし）

入選十五句

	番号	俳句	住所	氏名
①	2	子らの声あふるる路地や小鳥来る	松山市	中矢（なかや）　利麗（りり）
②	8	教頭も校長も曳く秋神輿	松山市	山本（やまもと）　恭児（きょうじ）
③	17	古里やどの道行くも豊の秋	西条市	三宅（みやけ）　品江（しなえ）
④	30	群りて孤独もありぬ赤蜻蛉	松山市	水代（みずしろ）　なつよ
⑤	47	妻のもの着せて饒舌なる案山子	宇和島市	井上（いのうえ）　論天（ろんてん）
⑥	54	留守電のランプ点滅そぞろ寒	松山市	松崎（まつざき）　幸子（さちこ）
⑦	55	洗濯機止めて木の実を掬ひけり	松山市	門田（かどた）　智子（ともこ）
⑧	58	眠るまで背を撫でをる夜長かな	東温市	井上（いのうえ）　京子（きょうこ）
⑨	63	天高し松山駅のリニューアル	今治市	池内（いけうち）　文恵（ふみえ）
⑩	68	同郷の訛なつかし青蜜柑	松山市	武井（たけい）日出子（ひでこ）
⑪	72	百年の廂の深し柿のれん	大洲市	清水（しみず）　禎子（ていこ）
⑫	73	鷹渡る空の余白を使ひきり	西予市	末光（すえみつ）恵美子（えみこ）
⑬	83	青信号郭公鳴きて街動く	大洲市	五十瀬（いせ）　つがや
⑭	86	ここからは海をゆく旅鷹柱	松山市	渡辺（わたなべ）美紀子（みきこ）
⑮	87	砕かれてなほ胡桃なる胡桃餅	松山市	一色（いっしき）　大輔（だいすけ）

令和6年度愛媛県民総合文化祭・俳句大会当日句選句用紙

特選一句

選者名　原田　マチ子

	番号	俳句	住所	氏名
①	30	群りて孤独もありぬ赤蜻蛉	松山市	水代なつよ

入選十五句

	番号	俳句	住所	氏名
①	7	サッチモの濁声聴きつ栗を剥く	松山市	林理恵
②	10	ありがたうの手話を交しぬ小春風	松山市	山内和子
③	11	花野行く今年も亡夫に会うために	松山市	松岡陽子
④	16	晩学に小さき足跡小鳥来る	松山市	松田かをり
⑤	24	くり返す戦と祈り桐は実に	松山市	渦岡くみ子
⑥	25	灯火親し晩学の影濃く曳きて	松山市	和泉久美子
⑦	31	落鮎の光掠めて釣られけり	松山市	友近芙美子
⑧	33	村芝居やあ！とぎょろ目の団十郎	松山市	吉田桂子
⑨	34	くろがねの刀子と手斧豊の秋	松山市	三好喜久子
⑩	35	秋日和土器の欠片の0五番	松山市	櫻木テル子
⑪	50	行く秋や古代住居に人の声	松山市	三木かや子
⑫	60	冬に入る奥歯一本失うて	新居浜市	永易知子
⑬	71	オカリナ奏づ桜紅葉の風まとひ	松山市	石原悦子
⑭	76	左岸の画廊右岸の飯屋秋深む	伊予市	園田志保
⑮	77	まほろばの縄文遺跡木の実落つ	松山市	倉田きみ

令和6年度愛媛県民総合文化祭・俳句大会当日句選句用紙

選者名　安原　谿游

特選一句

	番号	俳句	住所	氏名
①	6	舞茸汁禽獣の声遠く聴く	松山市	藤田（ふじた）　敦子（あつこ）

入選十五句

	番号	俳句	住所	氏名
①	7	サッチモの濁声（だみごえ）聴きつ栗を剥く	松山市	林（はやし）　理恵（りえ）
②	14	鶏頭やけなげな律の紅襷	松前町	武智（たけち）かおる
③	17	古里やどの道行くも豊の秋	西条市	三宅（みやけ）　品江（しなえ）
④	23	暮早し終点告ぐるアナウンス	松山市	ねむ。
⑤	31	落鮎の光掠めて釣られけり	松山市	友近（ともちか）芙美子（ふみこ）
⑥	37	海鼠壁するする昇る今日の月	松山市	辻原（つじはら）　雅子（まさこ）
⑦	39	鳥居越しの海爽やかや巫女の舞	松山市	平野（ひらの）ヒサエ
⑧	42	鵙高音町に唯一の理髪店	松山市	山下（やました）　昭子（あきこ）
⑨	52	舟頭のみちのく訛り紅葉晴	松山市	高橋（たかはし）　豊子（とよこ）
⑩	54	留守電のランプ点滅そぞろ寒	松山市	松崎（まつざき）　幸子（さちこ）
⑪	55	洗濯機止めて木の実を掬ひけり	松山市	門田（かどた）　智子（ともこ）
⑫	69	一斗缶鳴らして鳥を威しけり	宇和島市	平岡（ひらおか）千代子（ちよこ）
⑬	73	鷹渡る空の余白を使ひきり	西予市	末光（すえみつ）恵美子（えみこ）
⑭	81	詩ごころを煮つめて秋の野路深し	松山市	木下（きのした）　早苗（さなえ）
⑮	86	ここからは海をゆく旅鷹柱	松山市	渡辺（わたなべ）美紀子（みきこ）